



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社東邦システムサイエンス 上場取引所 東
 コード番号 4333 URL <https://www.tss.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小坂 友康
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 紺谷 直丈 (TEL) 03 (3868) 6060
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,620	△4.8	416	1.7	421	2.1	289	2.9
2020年3月期第2四半期	5,904	△4.6	409	△11.2	413	△11.0	281	9.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期第2四半期	23.87		—					
2020年3月期第2四半期	23.21		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	10,670	7,274	68.2	599.40
2020年3月期	10,313	7,081	68.7	584.44

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 7,274百万円 2020年3月期 7,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	0.1	920	0.5	927	0.4	632	0.1	52.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期2Q	13,865,992株	2020年3月期	13,865,992株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	1,729,451株	2020年3月期	1,750,111株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	12,121,497株	2020年3月期2Q	12,114,895株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等について）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法について）

当社は2020年11月25日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益は大幅な減少が続き、雇用情勢や設備投資等も弱含みで推移いたしました。緊急事態宣言の解除により、国内外の経済活動が再開し、一部に持ち直しの動きは見られるものの、引き続き不透明な状況にあります。

当社が属する情報サービス業界におきましては、特定サービス産業動態統計(2020年8月分確報)によると、売上高は、前年同月比△3.5%と2ヶ月ぶりに減少、受注ソフトウェアにおけるシステムインテグレーションにおいては同△3.7%と6ヶ月連続の減少となるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化してきており、引き続き顧客のIT投資動向を注視し、的確に対応していく必要があります。

このような環境のもと、中期事業計画の4本の柱である①トラディショナルITビジネス(SI事業の維持、拡大)、②デジタルITビジネス(デジタルビジネスへの挑戦)、③クリエイティブITビジネス(サービス提供型ビジネスの構築)、④経営基盤の強化(人財確保・育成、働きがい向上、内部管理体制の強化)を重点戦略として取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による案件の縮小や新規案件の延期・中止等の影響はあったものの、Web会議システム等を利用した積極的な営業活動により案件獲得を図るとともに、リモートワークや持ち帰り開発等を推進することにより、利益確保に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は5,620百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は416百万円(同1.7%増)、経常利益は421百万円(同2.1%増)、四半期純利益は289百万円(同2.9%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ソフトウェア開発

当社の中心的なビジネス領域である金融系分野は、売上高4,405百万円(前年同期比6.1%減)となりました。制度改定や保守領域の拡大が進んだ銀行系業務は481百万円(同9.6%増)、新規案件の獲得・拡大が進んだその他金融系業務は227百万円(同21.8%増)となりました。フロントシステムに関する案件が拡大したものの、保守案件が縮小となった生命保険系業務は1,259百万円(同4.7%減)、新規開発案件を積極的に受注したものの、大型開発案件が収束した証券系業務は782百万円(同5.6%減)、新規案件の延期等に加え保守予算が削減された損害保険系業務は1,654百万円(同13.7%減)となりました。

非金融系分野は、売上高1,078百万円(同4.5%増)となりました。保守案件が大幅な縮小となった医療福祉系業務は117百万円(同55.0%減)となったものの、DXやアジャイル開発等のデジタルビジネスが拡大した情報サービス系業務は216百万円(同209.9%増)となりました。

これらの結果、ソフトウェア開発の売上高は5,484百万円(同4.2%減)となりました。

②情報システムサービス等

情報システムサービス等の売上高は136百万円(前年同期比24.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

＜資産、負債及び純資産の状況＞

当第2四半期会計期間末における総資産は10,670百万円となり前事業年度末に比べ356百万円増加しております。これは主として、現金及び預金が385百万円、投資有価証券が96百万円増加し、売掛金が110百万円、有形固定資産が14百万円減少したことによります。

また、負債合計は3,395百万円となり前事業年度末に比べ163百万円増加しております。これは主として、未払費用が19百万円、未払法人税が63百万円、退職給付引当金が71百万円増加したことによります。

純資産は7,274百万円となり、前事業年度末に比べ193百万円増加しております。これは主として、四半期純利益289百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が67百万円増加したこと、剰余金の配当により181百万円減少したことによります。これらの結果、自己資本比率は68.2%となり、前事業年度末に比べ0.5ポイント減少しております。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ385百万円増加し、7,794百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は569百万円（前年同期比116.1%増）となりました。これは主な増加要因として、税引前四半期純利益が421百万円、減価償却費が19百万円、退職給付引当金の増加額が71百万円、売上債権の減少額が110百万円、未払費用の増加額が19百万円、主な減少要因として、法人税等の支払額が97百万円あったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3百万円（同95.6%減）となりました。これは主に保険積立金の払戻による収入9百万円、無形固定資産の取得による支出が10百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は181百万円（同44.9%減）となりました。これは主に配当金の支払額が181百万円あったことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,419,930	7,805,091
売掛金	1,548,708	1,437,960
仕掛品	40,797	38,068
その他	75,155	78,154
貸倒引当金	△4,609	△4,314
流動資産合計	9,079,983	9,354,959
固定資産		
有形固定資産	122,058	107,229
無形固定資産	5,823	21,280
投資その他の資産		
投資有価証券	275,759	372,430
繰延税金資産	691,195	688,022
その他	144,446	132,197
貸倒引当金	△5,675	△5,675
投資その他の資産合計	1,105,726	1,186,975
固定資産合計	1,233,607	1,315,484
資産合計	10,313,591	10,670,444
負債の部		
流動負債		
買掛金	546,270	553,855
未払金	45,786	37,915
未払費用	90,240	109,335
未払法人税等	120,938	184,621
賞与引当金	331,598	334,472
受注損失引当金	5,187	11,843
その他	127,890	127,196
流動負債合計	1,267,912	1,359,239
固定負債		
退職給付引当金	1,879,918	1,951,904
その他	84,716	84,716
固定負債合計	1,964,634	2,036,621
負債合計	3,232,547	3,395,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	542,007	554,200
利益剰余金	6,442,019	6,549,582
自己株式	△568,849	△562,154
株主資本合計	6,941,761	7,068,212
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	139,282	206,371
評価・換算差額等合計	139,282	206,371
純資産合計	7,081,044	7,274,583
負債純資産合計	10,313,591	10,670,444

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,904,348	5,620,928
売上原価	4,878,288	4,624,086
売上総利益	1,026,059	996,842
販売費及び一般管理費	616,902	580,734
営業利益	409,156	416,107
営業外収益		
受取配当金	1,805	2,044
保険事務手数料	471	448
貸倒引当金戻入額	1,142	295
未払配当金除斥益	—	1,520
受取補償金	—	2,061
その他	743	272
営業外収益合計	4,161	6,642
営業外費用		
固定資産除却損	—	900
営業外費用合計	—	900
経常利益	413,317	421,849
税引前四半期純利益	413,317	421,849
法人税、住民税及び事業税	98,139	158,956
法人税等調整額	33,991	△26,408
法人税等合計	132,131	132,548
四半期純利益	281,186	289,300

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	413,317	421,849
減価償却費	9,053	19,184
株式報酬費用	4,234	9,460
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△50,619	71,986
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△54,503	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,142	△295
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,122	2,873
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△40,000	6,656
受取利息及び受取配当金	△1,805	△2,044
固定資産除却損	—	900
売上債権の増減額 (△は増加)	371,281	110,748
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,911	2,729
仕入債務の増減額 (△は減少)	△103,455	7,585
未払費用の増減額 (△は減少)	△28,133	19,094
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△65,728	8,536
その他	13,568	△13,975
小計	433,034	665,289
利息及び配当金の受取額	1,805	2,044
法人税等の支払額	△171,125	△97,339
営業活動によるキャッシュ・フロー	263,714	569,994
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,327	△1,542
有形固定資産の除却による支出	—	△900
無形固定資産の取得による支出	△1,300	△10,901
敷金の差入による支出	△58,867	—
保険積立金の払戻による収入	—	9,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,494	△3,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△27,690	△33
配当金の支払額	△301,110	△181,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△328,800	△181,272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△146,580	385,160
現金及び現金同等物の期首残高	7,489,767	7,409,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,343,186	7,794,924

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア開発	5,490,119	95.3
情報システムサービス等	136,886	76.0
合計	5,627,005	94.7

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア開発	5,670,998	103.4	1,754,681	120.8
情報システムサービス等	129,500	73.5	67,380	97.3
合計	5,800,498	102.5	1,822,061	119.7

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア開発	5,484,042	95.8
情報システムサービス等	136,886	76.0
合計	5,620,928	95.2

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当第2四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社野村総合研究所	1,799,567	30.5	1,543,775	27.5
S C S K株式会社	671,345	11.4	604,299	10.8

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。